

# 組織的なアプローチⅡ

## 実践報告(1) 地域における実践

# 組織的なアプローチⅡ ～事業所の立場から～

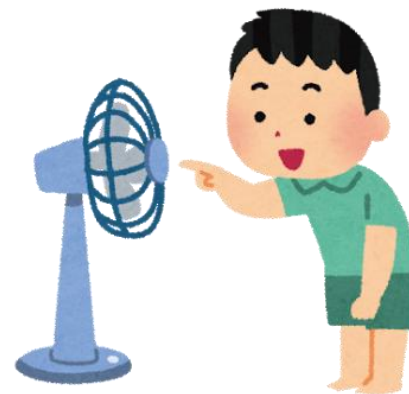
(特非) 秋川流域生活支援ネットワーク

おむすびネット

管理者 高梨 慶

# 実践報告 事例情報

## ジョージくん ①



- 年齢10歳 知的障害最重度 (IQ18) 自閉症＋知的障がい
- 身長128<sup>センチ</sup> 体重24kg
- ことばの理解：簡単な単語程度（喃語でいくつか話す）  
※但し、自分の興味のあるものに限定
- 好きなもの：電車、動画鑑賞、おさるのジョージ、おもちゃetc
- 苦手なもの：慣れない食物（ソース系のベタベタした食べ物）、大きな音、
- 視覚的情報に引っ張られやすく動けなくなってしまうことが多い
- これまで数コマのスケジュールを使った経験：学校のみ

# 実践報告 事例情報

## ジョージくん ②



- 【家族構成：母との2人暮らし(父、兄(別居))】
- 自宅では、行動停止とパニックが多発しており困っている
- 【特別支援学校通学】
- 【福祉サービス】  
毎週水曜日の放課後と隔週土曜日(第一、第三)、B事業所で移動支援を利用開始(母親の負担軽減目的)
- しかし、外出時に毎回パニックになり、手に負えません、とB事業所に利用を断られてしまう。
- 移動支援から行動援護へのサービス切り替え
- 計画相談担当者より当法人に相談がありサービス提供に至る

# 実践報告 事例情報

## ジョージくん ③



- 【計画相談員より:B事業所利用時のパニック時の様子】
- 次の行き先を伝えているのに移動を嫌がり、いつも座り込んで動かなくなってしまう。終わりの時間に帰宅できない。
- 靴を脱いで投げる、リュックや物を高いところから投げて落とす
- ヘルパーの髪をひっぱる、噛みつく、寝そべって蹴り泣きわめく
- 外出中、いきなり服を脱いで裸になってしまうことがある。  
(自宅迎え時、裸に近い恰好で過ごしていることがある。何か関係があるのではないか?)
- 急に走りだしてしまい、道路に飛び出ようとすることもある。踏切が鳴ると入ってしまうので危なくてサービス提供は難しい

# 実践報告 事例情報

## 障害特性に応じたサービスを 提供するために



- ご本人がどこに困難さを感じているのか
- 正確なアセスメントをとりなおす必要があるため、支援会議を開催し、サービス等利用計画を基に、計画相談員、母親、学校の担任から聞き取りをおこなう
- 障害特性の見極めと無理のないプランニング提供
- 数年先を見据えたサービスの提供
  
- ...そして、2年後...

# 組織的なアプローチ

## ～相談支援の立場から～

---

社会福祉法人滝乃川学園  
相談支援センターみなも  
市川享吾

# 相談支援の仕事

- インテーク
- アセスメント
- サービス等利用計画案
- サービス担当者会議
- サービス等利用計画
- モニタリング



# チームアプローチで大切なのは協働



# 協働とは・・・



- 異なる立場を尊重し、協力し合うことです

GH



外出



日中



# 協働のコツ



- 相手を否定しない。
- お互いの意見をテーブルに挙げる。
- アセスメントを共有する。
- 特性を中心に考える。
- 一つひとつ実践し、実践結果に基づいて話していく。

# 相談支援の役割



- 権利擁護
- 障がい特性
- その方がその方らしくいられるように

# アセスメントの重要性



- アセスメントは「ご本人さんがどういう方かを知ること」



- そのことをわかっているか？
- そのことができるか？ 苦手か？

# チームA



# 困ったことには、構造化を検討



- 新しく取り入れた仕組みの意味を理解し、身に着ける(習慣にする)。
- 1対1の場面で利用
- 室内等で利用
- 地域で活用



# 取組みのご紹介



# 行動を冰山モデルで検討する

## 電車で、いつも同じ場所に座ろうとする

環境による要因	自閉症の特性による要因	本人の気づき・経験
<ul style="list-style-type: none"><li>・どこに座ればよいのか、明確な指示がない。</li><li>・いつもの場所に無理に座ろうとすると、退いてくれる人がいる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・無理に座ったら、相手がどう思うか、想像・着目が難しい</li><li>・周囲の状況に合わせて、座る場所を判断できない。</li><li>・空いている席の見分け方、座れる席かどうかが分からない</li><li>・座れる時、座れない時があることに柔軟に対応できない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・無理に座ったら、他の人が退き、座れたことがあった</li><li>・電車に乗ると、同じ場所に座ることが習慣になっている</li><li>・端の席は、安心できた</li></ul>

# チームA、みんなで協働しています



